

安定した食材提供

川崎市学校給食会が設立された昭和20年代は、食材を購入することが困難な状態でした。

協 力 会

給食会が昭和33年に財団法人化された後、給食の食材を安定確保するために、市内の業者の方に働きかけ、給食協力を組織していただきました。

現在、川崎市内の青果協力会26業者、豆腐商業協同組合16業者、玉子類協力会6業者、食肉商業協同組合18業者が、『物資納入業者の協力会の組織に関する要綱』に基づき、食材の安定供給に貢献しています。

納入業者の公募

川崎市の給食は、『全市統一献立、同一食材』を基本にして実施されています。令和4年度の給食人数は、およそ11万3千人です。大量発注に応えられる納入業者が必要となります。

給食会では、『学校給食用物資納入業者指定登録基準』を設け、一般業者を一定期間公募し決定しています。

現在、一般業者は27社が登録され、『入札・見積合せ』、物資選定委員会への『サンプル提出』に参加しています。